EKX パワードスピーカー

EKX-12P、EKX-15P、EKX-15SP、EKX-18SP

取扱説明書

目次

1 安全について

1.1 安全に関する重要事項

警告：火災や感電の危険性を避けるため、本機器を雨や水蒸気に長期間さらすこと
のないようにしてください。
AVIS: RISQUE DE CHOC ELECTRIQUE,
NE PAS OUVRIR.
警告：電源プラグまたは AC コンセントが遮断装置として使用されます。遮断装置はすぐに操作可能な状態を保ちます。
警告：保護アースが接続された電源ソケットにのみ接続してください。
警告：感電の危険性を避けるため、カバー（および背面）は外さないでください。内部にユーザーが修理可能な部品はありません。修理については、有資格の担当員に確認してください。

正三角形に電光と矢印がある記号は、製品のケース内に絶縁されていない「高圧電流」が流れ、感電の危険があることを警告するものです。

正三角形に感嘆符のある記号は、本装置の取扱説明書に記載されている操作と保守（整備）の重要な指示への注意を喚起するものです。

正三角形にアスタリスクのある記号は、本スピーカー・システムに関連する装置とハードウェアの必要な設置と取外しの指示を知らせるものです。

1. 次の重要事項を確認してください。
2. 次の重要事項を遵守してください。
3. すべての警告に留意してください。
4. すべての重要事項を遵守してください。
5. この装置は水の近くで使用しないでください。
6. 本装置は乾いた布以外で清掃しないでください。
7. 本装置は、ヒーターやオーブン、またはその他（アンプなど）の熱源の近くに設置しないでください。
8. メーカー承認済みのアクセサリー、拡張製品のみを使用してください。
9. 装置内に水滴噴霧が侵入しないよう注意してください。花瓶や器など、液体の入った物体を本装置の上に置かないでください。
10. 換気口ふさがないでください。取扱説明書に従って設置してください。
11. 有極プラグやアース・プラグの安全な目的を無効にしないでください。有極プラグには幅の違う 2 枚のブレードがあります。アース・プラグには2枚のブレードと1つのアース棒端子があります。広いブレードまたは 3 本目の棒端子は安全のためのものです。付属ケーブルのプラグがコンセントに合わない場合は、電気工事店に依頼し古いコンセントを新しいものと交換してください。
12. 電源コードを踏んだり、プラグや室内コンセント、装置から出たところがはさまれないように保護してください。
13. 雷が鳴り始めた時や、長時間使用しない時などは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
14. 保守整備は資格を持っている担当者に相談してください。電源コードやプラグの損傷、装置が損傷した、水や異物が入った、装置に雨水がかかった、正常に動作しない、あるいは落とした場合には修理を依頼してください。
15. 本装置を AC 電源から完全に切断するには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

古い電気・電子機器すでに修理対応が終了した電気・電子装置は分別して収集し、環境適合のリサイクルに出すことが義務付けられています（電気・電子機器廃棄物に関する欧州指令に準拠）。

1.2 ご注意

	EKX パワード・スピーカー・システムは、0℃以下または ＋ 40℃を超える環境で使用しないでください。
	EKX パワード・スピーカーシステムを雨水、高湿度にさらさないでください。
	エレクトロボイスの EKX パワード・スピーカー・システムは、カバーエリアの範囲内にいる人が永続的な難聴になるほどの音圧レベルを簡単に生成できます。長期間 90 dB を超える音圧レベルにさらされないように注意してください。

1.4 吊り下げ

警告！
物を吊り下げるということは危険を伴うことなので、その作業は、必ず、頭上取り付け装具の技術と規則について詳細な知識を持つ人が行う必要があります。エレクトロボイスでは、スピーカーを吊り下げる場合、すべての最新の法律や規制を考慮することを強く推奨します。スピーカーを安全に吊り下げる事は設置者の責任です。エレクトロボイスでは、スピーカーを吊り下げる場合、最低 年 1 回のシステム点検を推奨しています。弱い部分または破損の兆候が見つかった場合は、直ちに改善措置を講じてください。壁または天井がスピーカーの荷重に耐えるかどうかの確認は、お客様の責任です。
エレクトロボイス製ではないスピーカーを吊り下げるときに使用する金具は、その製造会社に支給の責任があります。

2 説明

エレクトロボイススピーカーをお買い上げいただき、ありがとうございます。本書をお読みになり、エレクトロボイス・スピーカー・システムに組み込まれた機能を理解し、その性能をご活用ください。

EKX シリーズはエレクトロボイスポータブルスピーカーファミリーの中でも最も新しく、これまでに培ってきた伝統の エレクトロボイス音質と最新の技術を組み合わせてミュージシャンや DJ、ライブやクラブ、固定設備など幅広いニーズにお応えします。EKX シリーズは 8 種類のモデル(パワード 4 種類、パッシブ 4 種類)で構成され、12 インチの 2 ウェイモデルと、15 インチおよび 18 インチのサブウーファーが含まれています。

エレクトロボイスが設計したコンポーネント、シグナルシンクロナイズドトランスデューサー(SST)ウェーブガイドデザイン、およびクラス D アンプ(最大 1500 W)と Quick**Smart**DSP のすべてが協働して、高い SPL で正確なカバーエリアと高度な音質を提供します。定評のある エレクトロボイスの工業デザイン(頑丈な木製のエンクロージャと耐久性のある EV コート仕上げ)により、EKX スピーカーは音質だけでなく外観も優れています。

パワードタイプの EKX モデルは Quick**Smart**DSP が統合された高域周波数のクラス D パワーアンプ(最大 1500 W)を備え、エレクトロボイスがデザインおよび設計した高感度トランスデューサー(12 インチ EVS-12M ウーファー / 15 インチ EVS-15M ウーファーを DH-1M 1 インチ チタン製ダイヤフラムコンプレッションドライバーと組み合わせたもの。15 インチ EVS-15C サブウーファー / 18 インチ EVS-18C サブウーファー)を利用して最大 134 dB の SPL を提供します。

EKX アンプにはインテリジェントな温度管理(複数のオンボードセンサによって制御される可変速度ファンを使用)が組み込まれており、厳しい環境条件で優れた性能と信頼性を保証します。

パワードモデルは、4 種類のプリセット(MUSIC、LIVE、SPEECH*、CLUB)、サブ/トップシステムマッチクロスオーバー、スリーバンド EQ*、5 種類のユーザーがプログラム可能なプリセット(STORE および RECALL 設定)、リミッタ状態のビジュアル監視、入力レベルのコントロール*とメーター、および 適なゲイン構造を保証するマスターボリュームコントロールにより、簡単にセットアップできます。(*サブウーハーでは使用不可)

弊社のツーリングシステムから適応されたエレクトロボイス独自のカーディオイドコントロールテクノロジーにより、出力を聴衆に向け、複数のサブが導入されている場合にステージ上のレベルを最大 35 dB 削減できます。

EKX パワードモデルは、内部ブレーシング、耐久性のある EV コート 仕上げ、8 つの M10 ねじ山付きポイント(フルレンジのみ)、アルミ製ポールマウント、および全体が金属製のハンドルを使用する軽量でコンパクトな 15 mm 木製エンクロージャを持ち、移動式および据え付け型の用途に適しています。

2.1 システムの特徴

EKX-12P - 12 インチの 2 ウェイパワードスピーカーシステム

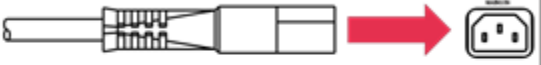
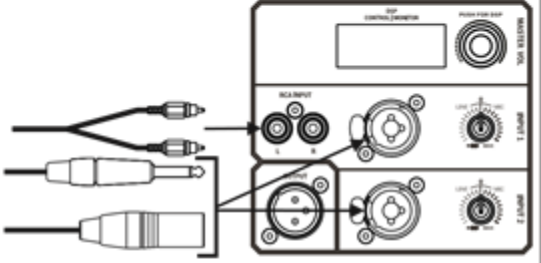
- Quick**Smart**DSP は、クラス最高の処理性能、エレクトロボイスの特徴であるシングルノブのユーザーインターフェイス、および LCD による直感的なメニューナビゲーションを備えています。
- 高効率の 1500 W クラス D パワーアンプは、エレクトロボイスによってデザインおよび設計された高感度トランスデューサーにより、最大 132 dB の SPL を提供します。
- 複数のオンボードセンサによって制御される可変速度ファンを使用するインテリジェントな温度管理。
- エレクトロボイスが特許を取得したシグナルシンクロナイズドトランスデューサー(SST)ウェーブガイドデザインにより、正確かつ安定したカバーエリアを提供します。
- 内部ブレーシング、耐久性のある EV コート 仕上げ、8 つの M10 ねじ山付きポイント、アルミ製ポールマウント、および全体が金属製のハンドルを使用する軽量でコンパクトな 15 mm 木製エンクロージャ。

EKX-15P - 15 インチのツーウェイパワードラウドスピーカーシステム

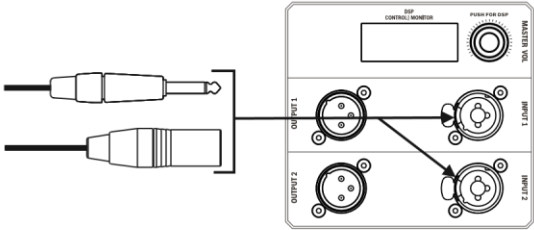
- Quick**Smart**DSP は、クラス 高の処理性能、エレクトロボイスの特徴であるシングルノブのユーザーインターフェイス、および LCD による直感的なメニューナビゲーションを備えています。

- 高効率の 1500 W クラス D パワーアンプは、エレクトロボイスによってデザインおよび設計された次世代の高感度トランスデューサーにより、最大 134 dB の SPL を提供します。
- 複数のオンボードセンサによって制御される可変速度ファンを使用するインテリジェントな温度管理。
- エレクトロボイスが特許を取得したシグナルシンクロナイズドトランスデューサー(SST)ウェーブガイドデザインにより、正確かつ安定したカバーエリアを提供します。
- 内部ブレーシング、耐久性のある EV コート 仕上げ、8 つの M10 ねじ山付きポイント、アルミ製ポールマウント、および全体が金属製のハンドルを使用する軽量でコンパクトな 15 mm 木製エンクロージャ。

EKX-15SP – 15 インチのパワードサブウーファー・スピーカーシステム
- QuickSmartDSP は、クラス最高の処理性能、エレクトロボイスの特徴であるシングルノブのユーザーインターフェイス、および LCD による直感的なメニューナビゲーションを備えています。
- カーディオイドコントロールテクノロジーにより、出力を聴衆に向け、複数のサブが導入されている場合にステージ上のレベルを最大 35 dB 削減できます。
- 高効率の 1300 W クラス D パワーアンプは、エレクトロボイスによってデザインおよび設計された高感度トランスデューサーを利用し、最大 133 dB の SPL を提供します。
- 複数のオンボードセンサによって制御される可変速度ファンを使用するインテリジェントな温度管理。
- 追加のスピーカーやサブウーファーによるシステム拡張を容易にする、2 つの XLR 出力。歪みを低減して低音をクリアに強化する、大きいスロットポート。金属製のグリル強化バー。M20 ねじ山付きポールマウントプレート。

EKX-18SP – 18 インチのパワードサブウーファー・スピーカーシステム
- QuickSmartDSP は、クラス最高の処理性能、エレクトロボイスの特徴であるシングルノブのユーザーインターフェイス、および LCD による直感的なメニューナビゲーションを備えています。
- カーディオイドコントロールテクノロジーにより、出力を聴衆に向け、複数のサブが導入されている場合にステージ上のレベルを最大 35 dB 削減できます。
- 高効率の 1300 W クラス D パワーアンプは、エレクトロボイスによってデザインおよび設計された高感度トランスデューサーを利用し、最大 134 dB の SPL を提供します。
- 複数のオンボードセンサによって制御される可変速度ファンを使用するインテリジェントな温度管理。
- 追加のスピーカーやサブウーファーによるシステム拡張を容易にする、2 つの XLR 出力。歪みを低減して低音をクリアに強化する、大きいスロットポート。金属製のグリル強化バー2 本。M20 ねじ山付きポールマウントプレート。

2.2 クイック・セットアップ

EKX パワード・スピーカーは、入念にバランスを考えた電子機器とトランスデューサが完全に統合されたオーディオ・システムです。これらの製品は、最小限のケーブルや外部電子装置で高品質システムをすばやく容易にセットアップすることを可能にします。

フルレンジラウドスピーカー
モデル:EKX-12P と EKX-15P
フルレンジ・スピーカーをセットアップするには、次の手順を行ってください。

手順	説明図
1. **AC** 電源コードをアース付きコンセントとスピーカーの電源差込口に接続します。	
2. 電源の **XLR** または **TRS** ケーブルを **INPUT 1** または **INPUT 2** に接続します。	
3. 入力ゲインを ∞-∞(無限)まで調整します。	
4. **POWER** スイッチ を ON にします。	
5. DSP ホーム画面から、**INPUT** ゲインを希望のサウンド出力に上げます。	
6. **MASTER VOL** つまみを回し、希望のボリュームに調整します。	

サブウーファー

モデル：EKX-15SP と EKX-18SP

サブウーファーをセットアップするには、次の手順を行ってください。

手順	説明図
1. **AC** 電源コードをアース付きコンセントとスピーカーの電源差込口に接続します。	
2. 電源の **XLR** または **TRS** ケーブルを **INPUT 1** または **INPUT 2** に接続します。	
3. **POWER** スイッチ を ON にします。	
4. **MASTER VOL** つまみを回し、希望のボリュームに調整します。	

3 システムの特長

3.1 寸法

607 mm [24 in]　375 mm [15 in]　175 mm [7 in]　324 mm [13 in]　229 mm [9 in]　160 mm [6 in]　356 mm [14 in]　38°　170 mm [7 in]

左側面図　正面図　右側面図　背面図　底面図

図 **3.1**: EKX-12P の寸法

685 mm [27 in]　432 mm [17 in]　224 mm [9 in]　370 mm [15 in]　229 mm [9 in]　159 mm [6 in]　429 mm [17 in]　39°　219 mm [9 in]

左側面図　正面図　右側面図　背面図　底面図

図 **3.2**: EKX-15P の寸法

左側面図　正面図　右側面図　背面図　底面図

図 **3.3**: EKX-15SP の寸法

左側面図　正面図　右側面図　背面図　底面図

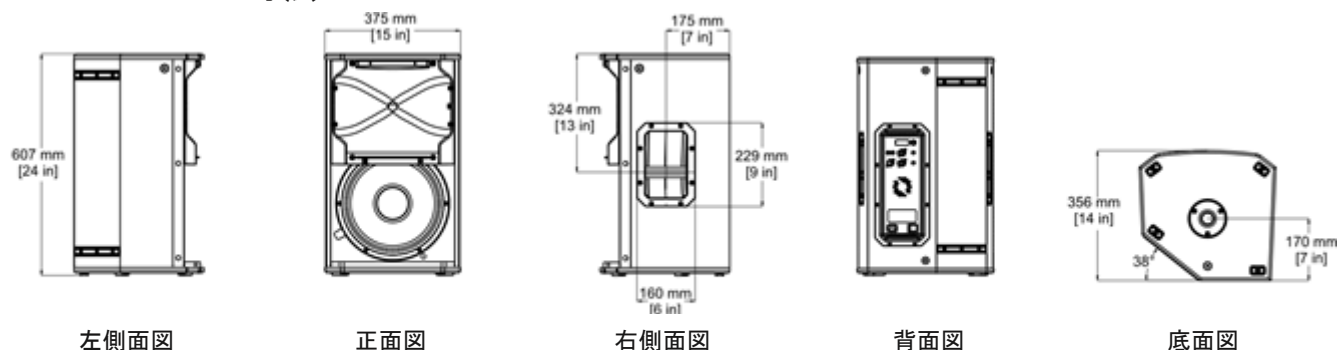
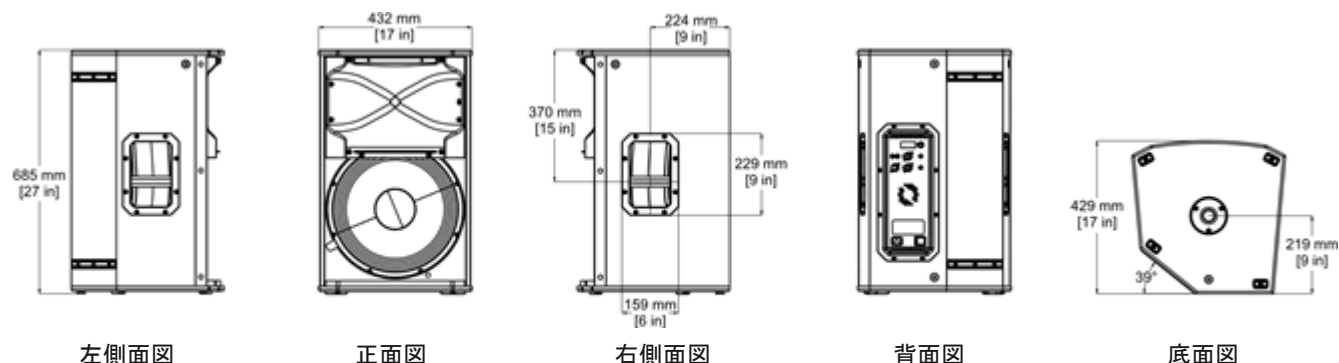
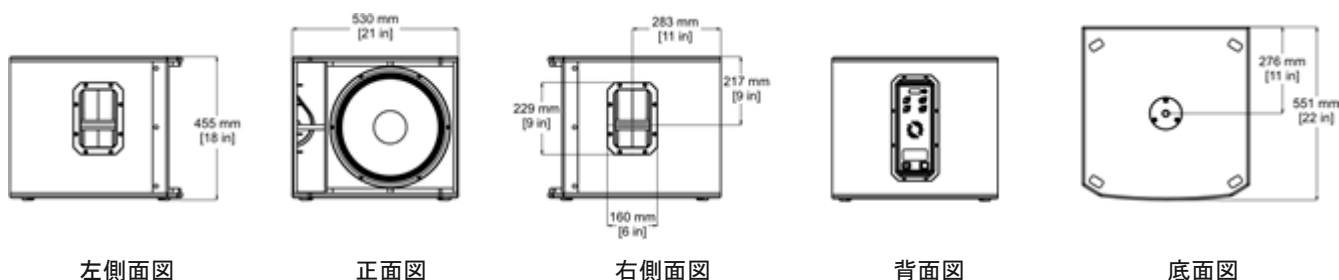
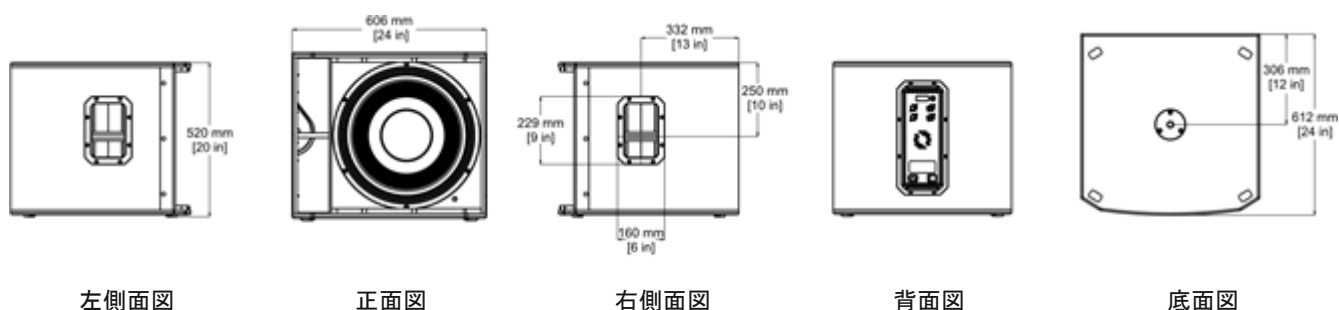



図 **3.3**: EKX-15SP の寸法

4 スタンドとフロア・モニタ

4.1 スタンドまたはポール・マウント

EKX-12P および EKX-15P スピーカーは、スタンドまたはサブウーファーの上にあるポールに取り付けます。

スタンドへの取り付け

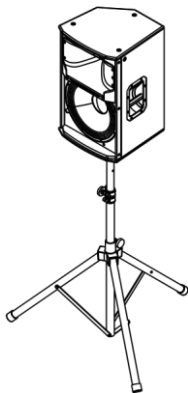
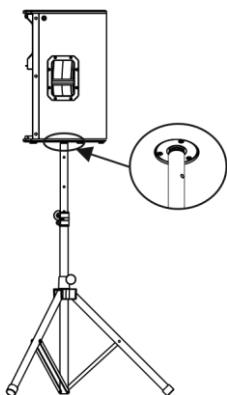



図 **4.1**: スタンドに取り付けたフルレンジ・モデル

注意！
このスピーカーでのスピーカー・スタンドの安全性は評価されていません。スピーカー・スタンドの仕様を調べ、スピーカーの重量を支えられるかスタンドの最大荷重を確認してください。

注意！
重たいスピーカーの持ち上げと設置は 2 人で行ってください。重たいスピーカーを 1 人で持ち上げて設置しようとすると、怪我をすることがあります。

スピーカーをスタンドに取り付けるには、次の手順を行ってください。

1. スタンドを安定した面に置きます。
   - スタンドの脚を完全に伸ばします。
   - スタンドを「さらに高く」するなど、その構造上の完全性を損なわないようにしてください。
   - 1台のスピーカー用スタンドに複数のスピーカーを取り付けないでください。
2. スピーカーを両手で持ち上げます。
3. スピーカーの底部にあるポールカップをポールに取り付けます。

スピーカーをポールに取り付ける

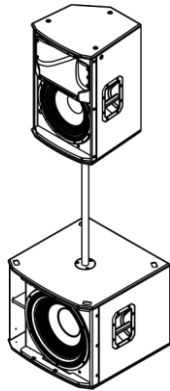
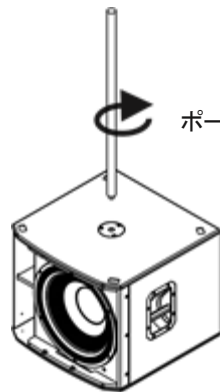
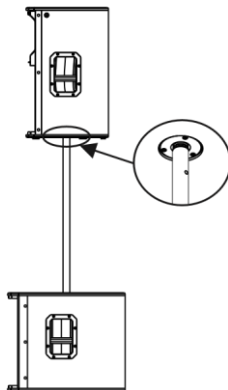



図 **4.2**: ポール・マウントを使用したフルレンジ/サブ・スタック

注意！

重たいスピーカーの持ち上げと設置は 2 人で行ってください。重たいスピーカーを 1 人で持ち上げて設置しようとすると、怪我をすることがあります。

スピーカーをポールに取り付けるには、次の手順を行ってください。

1. サブウーファーを安定した面に置きます。
2. **M20** ねじ山付きポールをサブウーファー上部のコンボ・ポール・カップに挿入します。

3. **M20** ねじ山付きポールを時計回りに回し、ポールをサブウーファーに固定します。
4. スピーカーを両手で持ち上げます。
5. スピーカーの底部にあるポールカップをポールに取り付けます。

4.2 フロア・モニター

EKX-12P および EKX-15P スピーカーは、モニター角度で配置することによってフロアモニターとして使用できます。

スピーカーをフロアモニターとして使用するには、次の手順を行ってください。

1. スタンドを安定した面に置きます。
2. 出演者、製作スタッフ、聴衆らがケーブルにつまずかないよう、ケーブルを安全に配線します。

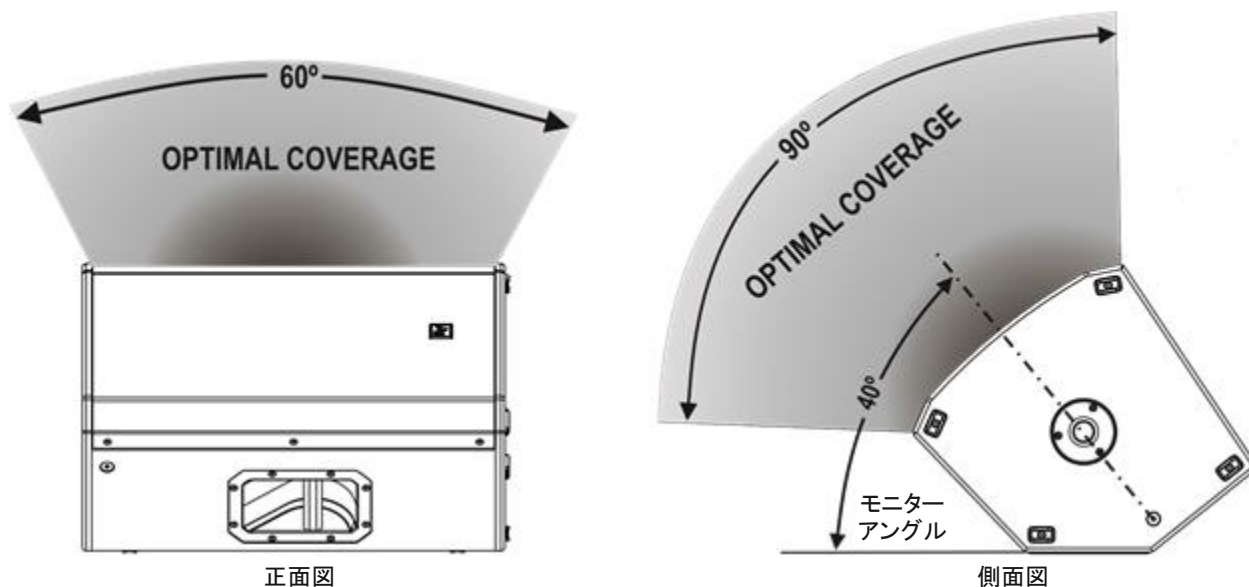



図 4.3: モニター位置での最適なカバレッジ

5 吊り下げ

EKX-12P および EKX-15P の筐体には M10 ねじ山付きポイントが 8 つ(上部に 6 つ、底部に 2 つ)あります。個々のスピーカーを吊り下げるには、頭上吊り下げ用として評価されている鍛造済みショルダーアイボルト(EBK-M10 アクセサリなど)を使用できます。

警告！
物を吊り下げるということは危険を伴うことなので、その作業は、必ず、頭上取り付け装具の技術と規則について詳細な知識を持つ人が行う必要があります。エレクトロボイスでは、スピーカーを吊り下げる場合、すべての 新の法律や規制を考慮することを強く推奨します。スピーカーを安全に吊り下げる事は設置者の責任です。エレクトロボイスでは、スピーカーを吊り下げる場合、 最低年 1 回のシステム点検を推奨しています。弱い部分または破損の兆候が見つかった場合は、直ちに改善措置を講じてください。壁または天井がスピーカーの荷重に耐えるかどうかの確認は、お客様の責任です。
エレクトロボイス製ではないスピーカーを吊り下げるときに使用する金具は、その製造会社に支給の責任があります。

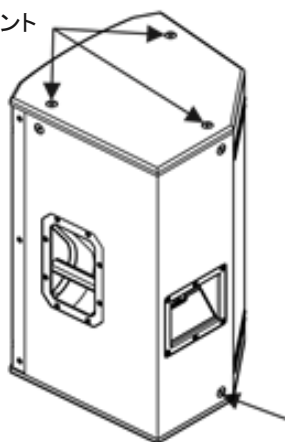
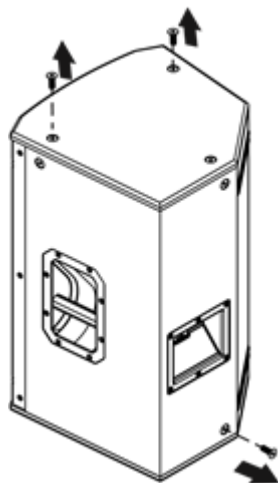
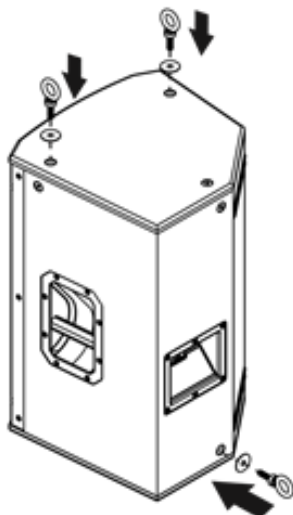



図 5.1: 吊り下げポイント

使用前に、吊り下げポイントとその金具に、吊り下げポイントの強度を低下させるような亀裂、変形、溶接割れ、コンポーネントの抜けまたは損傷がないか点検してください。損傷している金具は交換してください。吊り下げポイントの限度または最大推奨荷重を超えないようにしてください。追加の安全対策として、建物の構造支柱にもう一つ吊り下げポイントを設置することをお勧めします。この安全強化のため追加した安全ポイントは緩みをできるだけ少なくしてください(1 インチ未満が望ましい)。使用前に毎回、スピーカーの筐体に筐体の強度を低下させる割れ目、変形、コンポーネントの抜けや損傷がないか点検してください。損傷していたり金具が抜けているスピーカー・システムは交換してください。

アイボルトの取り付け

アイボルトを取り付けるには、次の手順に従います。

1. 吊り下げポイントから **M10 ねじ**を取りはずします。

2. **M10 ねじ**の代わりにフェンダー・ワッシャとアイボルトを取り付けます。

注意！

アイボルトを取り外した後、ねじを元通り取り付けてください。
ねじを再度取り付けないと筐体内に空気が入り、望ましくない結果になります。

警告！
アイボルトをしっかり奥まで挿入し、引っ張る面に向けてください。フェンダー・ワッシャは直径が最低 1.5 インチ、厚さが 1/16 インチのものを使用し、アイボルトの下に取り付けて負荷を筐体に分散させてください。

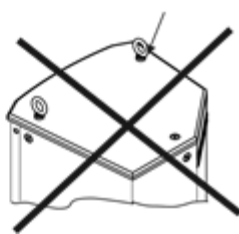



図 **5.2:** ワッシャありとなしのアイボルト取り付け

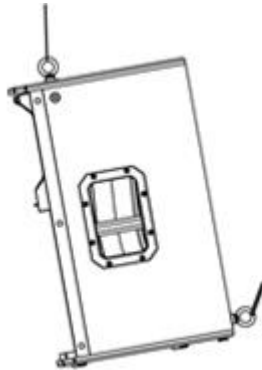



図 **5.3**：アイボルト（引っ張る部分の面を回転した場合）

警告！
エレクトロボイス・スピーカーの限度または最大推奨使用荷重を超えてはいけません。
この警告に従わないと大怪我をしたり、場合によっては死亡事故が起きることがあります。

1つの吊下げポイントで 50lb

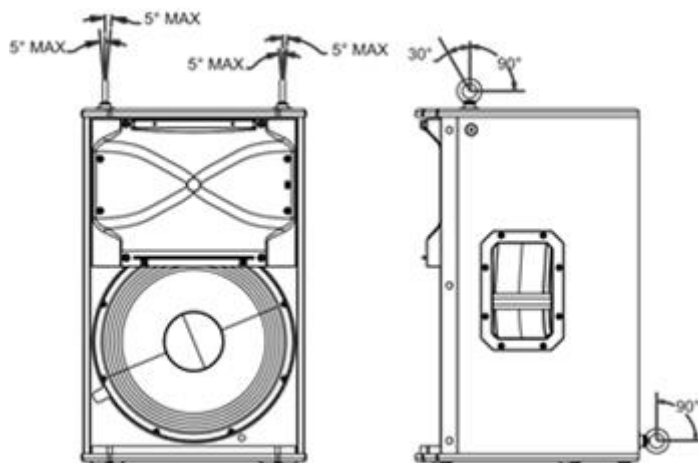



図 **5.4**:最大使用荷重－垂直の向き

警告！
EKX パワード・スピーカーを垂直柱アレイで吊下げないでください。
この警告に従わないと大怪我をしたり、場合によっては死亡事故が起きることがあります。

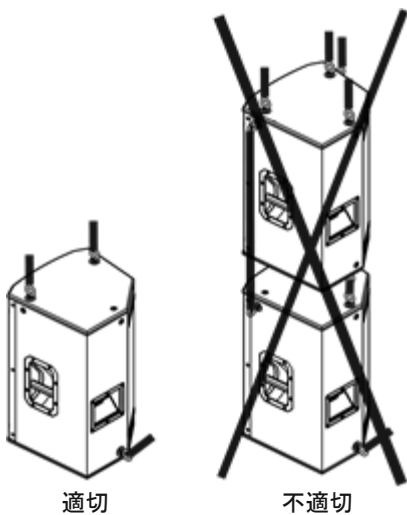



図 **5.5**: スピーカーの垂直吊り下げ

6 アンプ DSP

6.1 アンプ DSP のコントロール

アンプには、いくつかのコントロールとコネクタが装備され、非常に多目的に使えるスピーカー・システムを構成することができます。

フルレンジ・スピーカーのコントロールとモニタリング・インタフェース

フルレンジスピーカーに関する DSP コントロールメニューの選択項目は、EKX-12P および EKX-15P で使用できます。

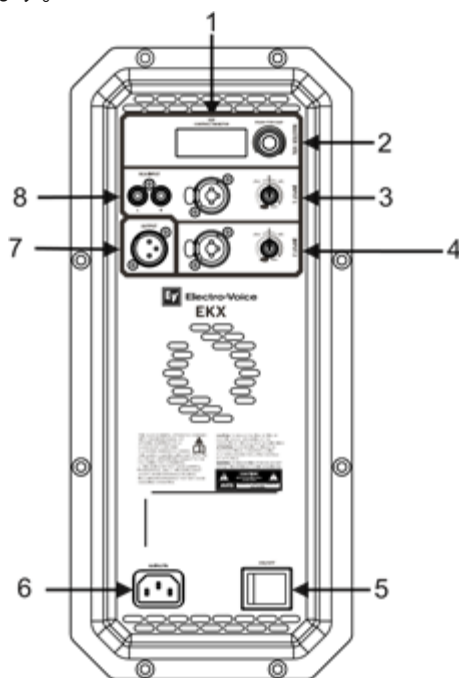



図 **6.1**:フルレンジ・スピーカーのアンプ・パネル

1. **LCD** – DSP コントロールとモニタリング・インタフェース。
2. **MASTER VOL** – サウンドレベルを調整します。
   DSP – メニューをスクロールして利用できるメニュー項目を選択します。DSP メニューに入るには MASTER VOL つまみを長押しします。
3. **INPUT LEVEL** – 各入力のレベルを調整するレベル・コントロール。12 時の位置はユニティ・ゲイン(ゲインまたは減衰なし)で、レンジはゼロの左です。LINE および MIC の入力レベル・コントロールは INPUT 1 と INPUT 2 の両方で利用できます。
4. **INPUT** – ミキシング・コンソール、楽器またはマイクなどの信号ソースを接続するバランス型入力。接続には ¼ インチの TRS または XLR コネクタを使用します。
5. **POWER** – AC 電源スイッチ。電源の ON、OFF を切り替えます。POWER を ON にすると、LCD 画面が点灯します。
6. **MAINS IN** – AC 接続には IEC コネクタを使用します。
7. **MIX OUTPUT** – XLR 出力は、両方の入力信号をミックスの別のスピーカーまたはサブウーファーへ送信します。INPUT LEVEL が MIX OUTPUT への信号レベルを制御します。MASTER VOL コントロールまたは DSP コントロールの設定を変えても MIX OUTPUT には影響はありません。
8. **RCA 入力** – CD プレイヤーや MP3 プレイヤーなどの接続用のステレオ・アンバランス型 RCA 入力です。そのレベルは INPUT 1 LEVEL を使って調整できます。入力は XLR / TRS INPUT 1 と同時に利用できます。

サブウーファー用コントロールとモニタリングインターフェース

サブウーファーに関する DSP コントロールメニューは EKX-15SP および EKX-18SP で利用できます。

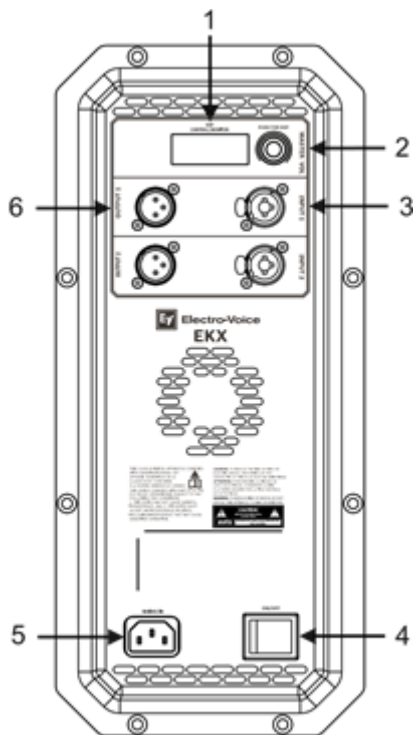



図 6.2: サブウーファーのアンプパネル

1. **LCD** – DSP コントロールとモニタリングインターフェイス。
2. **MASTER VOL** – サウンドレベルを調整します。
   DSP – メニューをスクロールして選択します。DSP メニューに入るには MASTER VOL つまみを長押しします。
3. **INPUT** – ミキシングコンソール、楽器、マイクなどの信号ソースを接続するバランス型入力。接続には ¼ インチの TRS または XLR コネクタを使用します。
4. **POWER** – 電力の ON または OFF を切り替える AC スイッチです。電源をオンにすると、スイッチが点灯します。
5. **MAINS IN** – AC 接続には IEC コネクタ付きケーブルを使用します。
6. **OUTPUT** – XLR 出力は、入力信号を別のスピーカーまたはサブウーファーに送ります。INPUT 1 は OUTPUT 1 にリンクされ、INPUT 2 は OUTPUT 2 にリンクされます。MASTER VOL および DSP コントロールの設定は OUTPUT に影響しません。

6.2 システムの状態

正常なシステム状態

図 6.3: 正常なシステム状態のホーム画面

1. **LEVEL** – システムのマスターゲインを dB で示します。範囲はミュートから +10 dB で、1 dB 単位で増減します。
2. **IN1** – VU メーターは、INPUT 1 からアンプ INPUT 1 XLR コネクタへの信号レベルを示します。IN1 と IN2 は相互に独立しています。
3. **IN2** – VU メーターは、INPUT 2 からアンプ INPUT 2 XLR コネクタへの信号レベルを示します。IN1 と IN2 は相互に独立しています。
4. **Lock** – ユーザーが設定を誤って変更しないようにするために設計されています。この選択項目に利用可能なオプションは ON または OFF です。デフォルトは *OFF* です。
   詳細については、*LOCK メニュー、25 ページ*を参照してください。

システム保護

システム保護リミッタは、システムが推奨されている使用量を超えているときに LCD ディスプレイに CLIP または LIMIT を表示してそのことを示します。

CLIP

図 **6.4**: クリップシステムステータス

CLIP は、スピーカーへの信号が高すぎるため、クリップされた信号がスピーカーに入力されていることを示します。CLIP が表示された場合は、ミキサーまたはソース機器で信号を下げます。

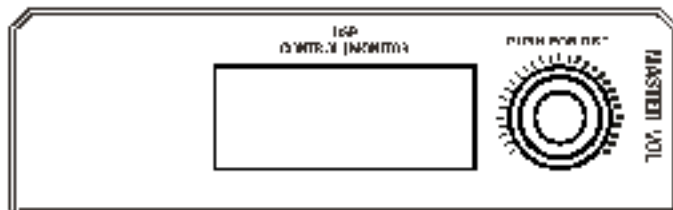
LIMIT

または

図 **6.5**: システム状態の限界

LIMIT は、歪みを引き起こす可能性のある短期間のピークからラウドスピーカーを保護します。画面に LIMIT が小さく表示された場合、リミッタはアクティブですが、歪みは制御されています。大きく表示された LIMIT は、音声が悪影響を受けていることを示します。LIMIT が大きく表示された場合は、出力ボリューム（MASTER VOL）を下げることを強くお勧めします。

6.3 DSP コントロール

統合 DSP コントロール・メニューでは、スピーカーの DSP システム設定を複数選択することができます。

DSP コントロールメニューにアクセスするには、次の手順に従います。

1. **MASTER VOL** つまみを押します。
   ［*DSP Control*］メニューが表示されます。

2. MASTER VOL つまみを回してメニュー項目をスクロールします。
3. **MASTER VOL** つまみを、修正したいメニュー項目で押して選択します。
   フォーカスが *DSP* メニュー右側のパラメータに移動します。

4. MASTER VOL つまみを使用してパラメータをスクロールします。

5. **MASTER VOL** つまみを押し、選択したパラメータを確定します。
   設定が保存され、フォーカスが *DSP* メニュー左側のメニュー項目に戻ります。

6. その他の DSP およびシステム設定を変更するには、手順 **2** ～ **5** を繰り返します。
7. **EXIT** を選択してホーム画面に戻ります。

6.3.1 フルレンジスピーカーの DSP コントロールメニュー

フルレンジスピーカーの DSP コントロールメニューの選択項目は、EKX-12P および EKX-15P スピーカーで使用できます。

EXIT	
MODE	MUSIC（デフォルト）
	LIVE
	SPEECH
	CLUB
LOCATION	TRIPOD（デフォルト）
	MONITOR
	WALL
	SUSPEND
SUB	OFF（デフォルト）
	80Hz
	100Hz
	120Hz
	150Hz
	EKX-15SP
	EKX-18SP
	ELX118P
TREBLE	0 db（デフォルト）
	-12 dB ～ +6 dB
MID	0 db（デフォルト）
	-12 dB ～ +6 dB
BASS	0 db（デフォルト）
	-12 dB ～ +6 dB

LED	ON（デフォルト）
	OFF
	LIMIT
LCD DIM	ON（デフォルト）
	OFF
BRIGHT	5（デフォルト）
	1 ～ 10
CONTRAST	5（デフォルト）
	1 ～ 10
STORE	EXIT、1、2、3、4、5、EXIT
RECALL	EXIT、1、2、3、4、5、EXIT
LOCK	NO（デフォルト）
	YES
RESET	NO（デフォルト）
	YES
INFO	[製品名]
	[ファームウェアバージョン]
EXIT	

表 **6.1**: フルレンジスピーカー **DSP** コントロールメニュー

EXIT メニュー
EXIT メニューはホーム画面に戻るときに使用します。

注意！
ディスプレイは何も操作をしないと 2 分後にホーム画面に戻ります。

MODE メニュー
MODE メニューは、スピーカーが出す音声の種類を構成するために使用します。この選択項目に利用可能なオプションは、MUSIC、LIVE、SPEECH および CLUB です。

- **MUSIC** – 録音された音楽の再生と、EDM 用途に使用します。（デフォルト）
- **LIVE** – ライブ音声用途に使用します。
- **SPEECH** – スピーチ用途に使用します。

- **CLUB** – 録音されたエレクトロニックミュージックの再生に使用します。

LOCATION メニュー
LOCATION メニューは、スピーカーをさまざまな境界向けに最適化するために使用します。この選択項目に利用可能なオプションは、TRIPOD、MONITOR、WALL、および SUSPEND です。
- **TRIPOD** –スピーカーを三脚またはポールに取り付ける場合に使用します。(デフォルト)
- **MONITOR** – スピーカーを、モニター位置へ設置する場合に使用します。この設定は、スピーカーを床の近くに配置することで生じる低周波数増幅の量を補正します。
- **WALL** – スピーチを取付ブラケットで壁に取り付ける場合に使用します(取り付けブラケットアクセサリは別売りです)。この設定は、スピーカーを壁の近くに配置することで生じる低周波数増幅の量を補正します。柱に取り付ける場合は SUSPEND モードの使用をお勧めします。
- **SUSPEND** – スピーカーをあいボルトによる 3 点吊下げで吊下げる場合に使用します。詳細については、*吊り下げ*、*13 ページ*を参照してください。

SUB メニュー
SUB メニューは、サブウーファーまたはマッチングされたサブウーファーで使用するハイパス周波数を選択するために使用します。この選択項目に利用可能なオプションは、OFF、80Hz、100Hz、120Hz、150Hz、EKX-15SP、EKX-18SP、および ELX118P です。ハイパスは 24 dB/オクターブ Linkwitz/Riley クロスオーバーです。80 Hz、100 Hz、120 Hz、および 150 Hz の選択肢は、その他のサブウーファー用の汎用ハイパス設定です。EKX-15SP、EKX-18SP、および ELX118P 設定は、最良の合計を行うための遅延が含まれており、特にサブウーファー用に 適化されています。デフォルトは *OFF* です。

TREBLE メニュー
TREBLE メニューは、さまざまな用途や個人の好みに合わせてスピーカーの高域周波数性能を調整するために使用します。このパラメータは、6 kHz を中心としたハイシェルビングのフィルタを制御します。範囲は -12 dB ～ +6 dB です。デフォルトはゼロ(*0*)です。

MID メニュー
MID メニューは、さまざまな用途や個人の好みに合わせてスピーカーの中域周波数性能を調整するために使用します。このパラメータは、1.2 kHz を中心とするパラメトリック EQ を制御します。範囲は -12 dB ～ +6 dB です。デフォルトはゼロ(*0*)です。

BASS メニュー
BASS メニューは、さまざまな用途や個人の好みに合わせてスピーカーの低域周波数性能を調整するために使用します。このパラメータは、80 Hz を中心とするパラメトリック EQ フィルタを制御します。デフォルトはゼロ(*0*)です。

LED メニュー
LED メニューは、電源オン状態とリミットを示します。この選択項目に利用可能なオプションは ON、OFF、または LIMIT です。
- **ON** –スピーカーの電源が ON の場合に LED をオンにします。(デフォルト)
- **OFF** – LED をオフにします。
- **LIMIT** – 通常動作時に LED をオフにします。短い間隔で点滅する LED は、リミッタがアクティブであることを示します。短い期間の点滅は、内蔵リミッタスによって歪みが制御されていることを意味するため、重大ではありません。継続的に点灯している LED は、音声が悪影響を受けていることを示します。LED が継続的に点灯している場合は、詳細について背面 LCD を確認してください。出力ボリュームを下げることを強くお勧めします。

LCD DIM メニュー
LCD DIM メニューは、ディスプレイで 2 分間操作がなかった場合にディスプレイを暗くするために使用します。この選択項目に利用可能なオプションは ON または OFF です。

デフォルトは *ON* です。

BRIGHT メニュー

BRIGHT メニューは LCD の明るさを決定するために使用します。範囲は 1 ～ 10 です。
デフォルトは *5* です。

CONTRAST メニュー

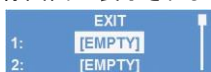
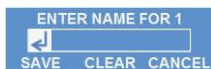
CONTRAST メニューは LCD のコントラストを決定するために使用します。範囲は 1 ～ 10 です。
デフォルトは *5* です。

STORE メニュー

STORE メニューを使用すると、大 5 つのカスタムユーザー設定を作成できます。この選択項目に利用可能なオプションは、EXIT、1、2、3、4、および 5 です。

注意！
カスタムユーザー設定名には、英数字の組み合わせ（スペースを含む）を使用できます。英数字の範囲は、A～Z および 0～9 です。
名前フィールドの長さは 12 文字です。

カスタムユーザー設定を保存するには、次の手順に従います。

1. DSP メニューから、**STORE** までスクロールします。
2. **MASTER VOL** つまみを押して STORE を選択します。
   保存画面が表示されます。

3. **MASTER VOL** つまみを押して 1 を選択します。
   [*Enter name for 1*] 画面が表示されます。
4. **MASTER VOL** つまみを使用して文字をスクロールします。文字が表示されます。

5. **MASTER VOL** つまみを押し、希望する文字を選択します。
6. **MASTER VOL** つまみを回し、次の文字入力部分まで移動します。
   希望する設定名が入力されるまで、文字の選択を続けます。

7. **MASTER VOL** つまみを使用して SAVE までスクロールします。
8. **MASTER VOL** つまみを押して SAVE を選択します。

9. その他のカスタムユーザー設定を保存するには、手順 **3** ～ **8** を繰り返します。
10. **EXIT** を選択してホーム画面に戻ります。

RECALL メニュー

RECALL メニューを使用すると、最大 5 つのカスタムユーザー設定を取得できます。この選択項目に利用可能なオプションは、EXIT、1、2、3、4、および 5 です。
カスタムユーザー設定を呼び出すには、次の手順に従います。

1. DSP メニューから、**RECALL** までスクロールします。

2. **MASTER VOL** つまみを押して RECALL を選択します。
   呼び出し画面が表示されます。
3. **MASTER VOL** つまみを押して 1 を選択します。
   選択した項目がロードされます。

4. **EXIT** を選択してホーム画面に戻ります。

LOCK メニュー

Lock メニューは、ユーザーが設定を誤って変更しないようにするために設計されています。この選択項目に利用可能なオプションは ON または OFF です。

デフォルトは *OFF* です。

DSP メニューをロックするには、次の手順に従います。

1. DSP メニューから、**LOCK** までスクロールします。
2. **ON** を選択します。
3. ［*Enter name for 1*］メッセージが表示されます。

4. **YES** を選択します。

注意！

メニューロックが ON の場合、ユーザーは MASTER VOL を調整できます。

DSP メニューをロック解除するには、次の手順に従います。

MASTER VOL つまみを 5 秒間押し続けます。

DSP メニューがロック解除されます。

RESET メニュー

RESET メニューは、スピーカーを工場出荷時設定にリセットするために使用します。この選択項目に利用可能なオプションは NO または YES です。

デフォルトの選択内容は *NO* です。

システムを工場出荷時設定にリセットするには、次の手順に従います。

1. DSP メニューから、**RESET** を選択します。
   リセットすることを確認するメッセージが表示されます。

2. **YES** を選択します。
   スピーカーが再起動し、システムが工場出荷時設定にリセットされます。

注意！

リセットを実行すると、STORE メニューで保存したユーザーカスタム設置は消去されます。
STORE および RECALL メニューにある 5 つのユーザーカスタム設定は<EMPTY>に戻ります。

INFO メニュー

INFO メニューは製品名とファームウェアバージョンを表示するために使用します。

6.3.2 サブウーファー DSP コントロールメニュー

サブウーファーに関する DSP コントロールメニューの選択項目は、EKX-15SP および EKX-18SP サブウーファーで使用できます。

EXIT	
MODE	MUSIC（デフォルト）
	LIVE
	CLUB
LOCATION	NORMAL（デフォルト）
	CARDIOID
LOW PASS	80Hz
	100Hz（デフォルト）
	120Hz
	150Hz
	EKX-12P
	EKX-15P
	ELX112P
	ELX115P
	ZLX-12P
	ZLX-15P
LED	ON（デフォルト）
	OFF
	LIMIT
LCD DIM	ON（デフォルト）
	OFF
BRIGHT	5（デフォルト）
	1 ～ 10

CONTRAST	5（デフォルト）
	1 ～ 10
STORE	EXIT、1、2、3、4、5、EXIT
RECALL	EXIT、1、2、3、4、5、EXIT
LOCK	NO（デフォルト）
	YES
RESET	NO（デフォルト）
	YES
INFO	[製品名]
	[ファームウェアバージョン]
EXIT	

表 **6.2:** サブウーファー **DSP** コントロールメニュー

MODE メニュー

MODE メニューは、サブウーファーが出す音声の種類を構成するために使用します。この選択項目に利用可能なオプションは、MUSIC、LIVE、および CLUB です。

- **MUSIC** –録音された音楽の再生と EDM 用途に使用します。（デフォルト）
- **LIVE** – ライブ音声用途に使用します。
- **CLUB** – 録音された電子音楽の再生に使用します。

LOCATION メニュー

LOCATION メニューは、他のサブウーファーとのアレイ構成で使用されるサブウーファーの出力を制御するために使用します。この選択項目に利用可能なオプションは NORMAL と CARDIOID です。

- **NORMAL** – 単一のサブウーファー、または希望する出力が事実上全方向であるサブウーファーのアレイ用に使用します。この設定はカーディオイドアレイ構成のフロントファイアリング型サブウーファーにも使用できます。ほとんどの状況下で、サブウーファーは NORMAL に設定する必要があります。（デフォルト）
- **CARDIOID** – カーディオイドアレイ構成のリアファイアリング型サブウーファーでのみ使用します。詳細については、*カーディオイドコントロールテクノロジー*、*37* ページを参照してください。

LOW PASS メニュー

LOW PASS メニューは、フルレンジスピーカーとの適切な合計に使用するローパス周波数を選択するために使用します。

この選択項目に利用可能なオプションは、80 Hz、100 Hz、120 Hz、150 Hz、EKX-12P、EKX-15P ELX112P、ELX115P、ZLX-12P、および ZLX-15P です。ローパスは 24 dB/オクターブ Linkwitz/Riley スロープです。80 Hz、100 Hz、120 Hz、および 150 Hz の選択肢は、その他のフルレンジスピーカーシステム用の汎用ローパス設定です。EKX-12P、EKX-15P、ELX112P、ELX115P、ZLX-12P、および ZLX-15P 設定は、特にフルレンジスピーカーで 良の合計を実行できるように 適化されています。
デフォルトは *100 Hz* です。

LED メニュー
LED メニューは電源オン状態とリミットを示します。この選択項目に利用可能なオプションは ON、OFF または LIMIT です。

- **ON** –スピーカーの電源が ON の場合に LED をオンにします。(デフォルト)
- **OFF** – LED をオフにします。
- **LIMIT** – 通常動作時に LED をオフにします。短い間隔で点滅する LED は、リミッタがアクティブであることを示します。短い期間の点滅は、内蔵リミッタスによって歪みが制御されていることを意味するため、重大ではありません。継続的に点灯している LED は、音声が悪影響を受けていることを示します。LED が継続的に点灯している場合は、詳細について背面 LCD を確認してください。出力ボリュームを下げることを強くお勧めします。

LCD DIM メニュー
LCD DIM メニューは、ディスプレイで 2 分間操作がなかった場合にディスプレイを暗くするために使用します。この選択項目に利用可能なオプションは ON または OFF です。デフォルトは *ON* です。

BRIGHT メニュー
BRIGHT メニューは LCD の明るさを決定するために使用します。範囲は 1 〜 10 です。
デフォルトは *5* です。

CONTRAST メニュー
CONTRAST メニューは LCD のコントラストを決定するために使用します。範囲は 1 〜 10 です。
デフォルトは *5* です。

STORE メニュー
STORE メニューを使用すると、最大 5 つのカスタムユーザー設定を作成できます。この選択項目に利用可能なオプションは、EXIT、1、2、3、4、および 5 です。

注意!

カスタムユーザー設定名には、英数字の組み合わせ(スペースを含む)を使用できます。英数字の範囲は、A~Z および 0~9 です。
名前フィールドの長さは 12 文字です。

カスタムユーザー設定を保存するには、次の手順に従います。

1. DSP メニューから、**STORE** までスクロールします。
2. **MASTER VOL** つまみを押して STORE を選択します。
   保存画面が表示されます。

3. **MASTER VOL** つまみを押して 1 を選択します。
   v[*Enter name for 1*]画面が表示されます。
4. **MASTER VOL** つまみを使用して文字をスクロールします。文字が表示されます。

5. **MASTER VOL** つまみを押し、希望する文字を選択します。
6. **MASTER VOL** つまみを回し、次の文字入力部分まで移動します。
   希望する名前が入力されるまで、文字の選択を続けます。

7. **MASTER VOL** つまみを使用して SAVE までスクロールします。

8. **MASTER VOL** つまみを押して SAVE を選択します。

9. その他のカスタムユーザー設定を保存するには、手順 **3** ～ **8** を繰り返します。
10. **EXIT** を選択してホーム画面に戻ります。

RECALL メニュー

RECALL メニューを使用すると、最大 5 つのカスタムユーザー設定を取得できます。この選択項目に利用可能なオプションは、EXIT、1、2、3、4、および 5 です。

カスタムユーザー設定を呼び出すには、次の手順に従います。

1. DSP メニューから、**RECALL** までスクロールします。
2. **MASTER VOL** つまみを押して RECALL を選択します。
   呼び出し画面が表示されます。
3. **MASTER VOL** つまみを押して 1 を選択します。
   選択した項目がロードされます。

4. **EXIT** を選択してホーム画面に戻ります。

LOCK メニュー

Lock メニューは、ユーザーが設定を誤って変更しないようにするために設計されています。この選択項目に利用可能なオプションは ON または OFF です。

デフォルトは *OFF* です。

DSP メニューをロックするには、次の手順に従います。

1. DSP メニューから、**LOCK** までスクロールします。
2. ON を選択します。

3. YES を選択します。

注意！

メニューロックが ON の場合、ユーザーは MASTER VOL を調整できます。

DSP メニューをロック解除するには、次の手順に従います。

MASTER VOL つまみを 5 秒間押し続けます。

DSP メニューがロック解除されます。

RESET メニュー

RESET メニューは、スピーカーを工場出荷時設定にリセットするために使用します。この選択項目に利用可能なオプションは NO または YES です。

デフォルトの選択内容は *NO* です。

システムを工場出荷時設定にリセットするには、次の手順に従います。

1. DSP メニューから、**RESET** を選択します。
   リセットすることを確認するメッセージが表示されます。

2. **YES** を選択します。
   スピーカーが再起動し、システムが工場出荷時設定にリセットされます。

注意！

リセットを実行すると、STORE メニューで保存したユーザーカスタム設定は消去されます。STORE および RECALL メニューにある 5 つのユーザーカスタム設定は<EMPTY>に戻ります。

INFO メニュー

INFO メニューは製品名とファームウェアバージョンを表示するために使用します。

7 推奨構成

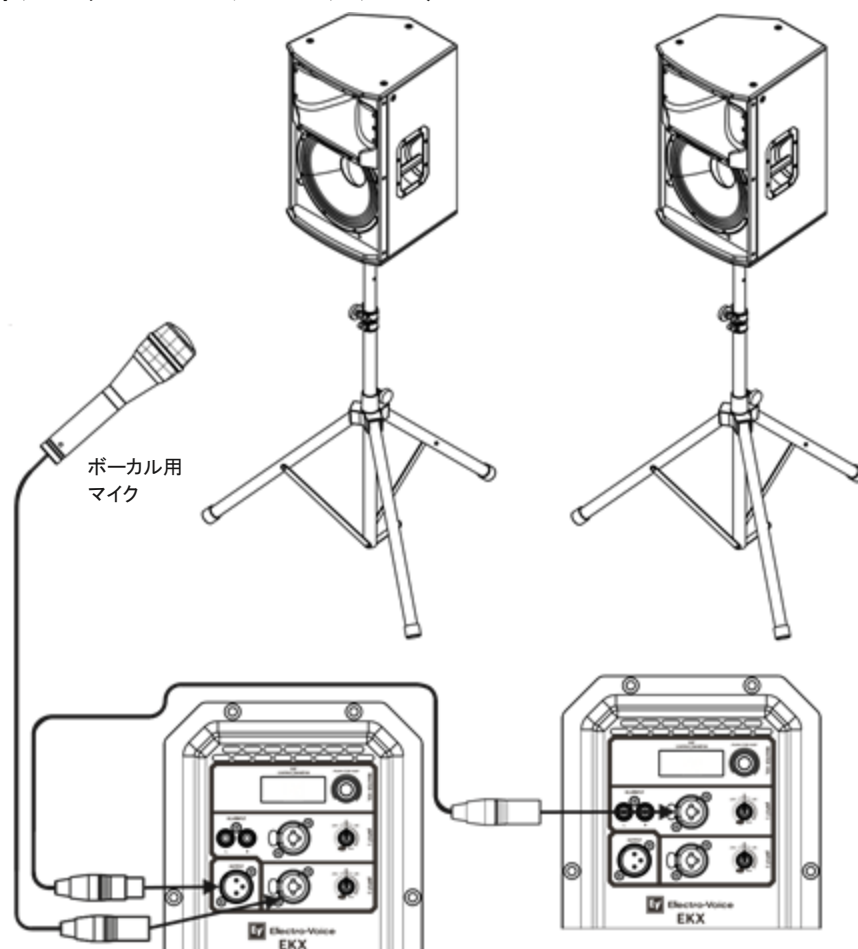
7.1 デイジーチェーンフルレンジシステム

MODE:	SPEECH
LOCATION:	TRIPOD
SUB:	OFF

表 **7.1**: 三脚に取り付けられたスピーカーの **DSP** 設定

詳細については、フルレンジスピーカーの *DSP コントロールメニュー*、*20* ページを参照してください。

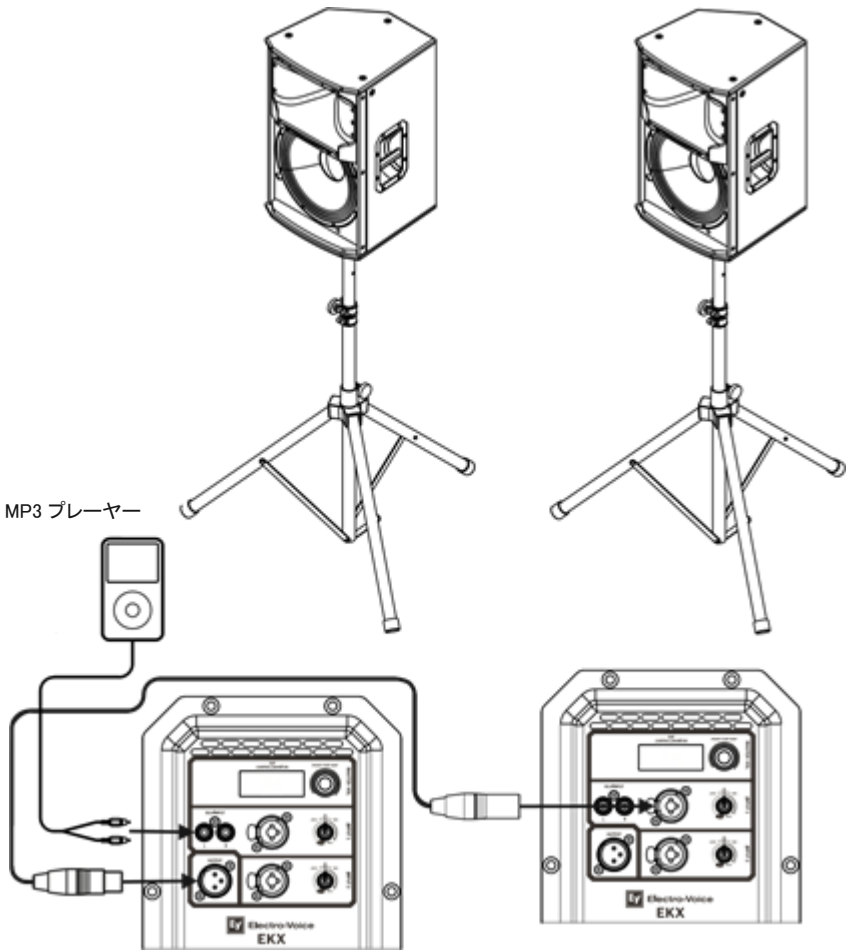
7.2 MP3 プレーヤの MONO 構成

MODE:	MUSIC
LOCATION:	TRIPOD
SUB:	OFF

表 7.2: 三脚に取り付けられたスピーカーの DSP 設定

詳細については、フルレンジスピーカーの *DSP コントロールメニュー*、*20* ページを参照してください。

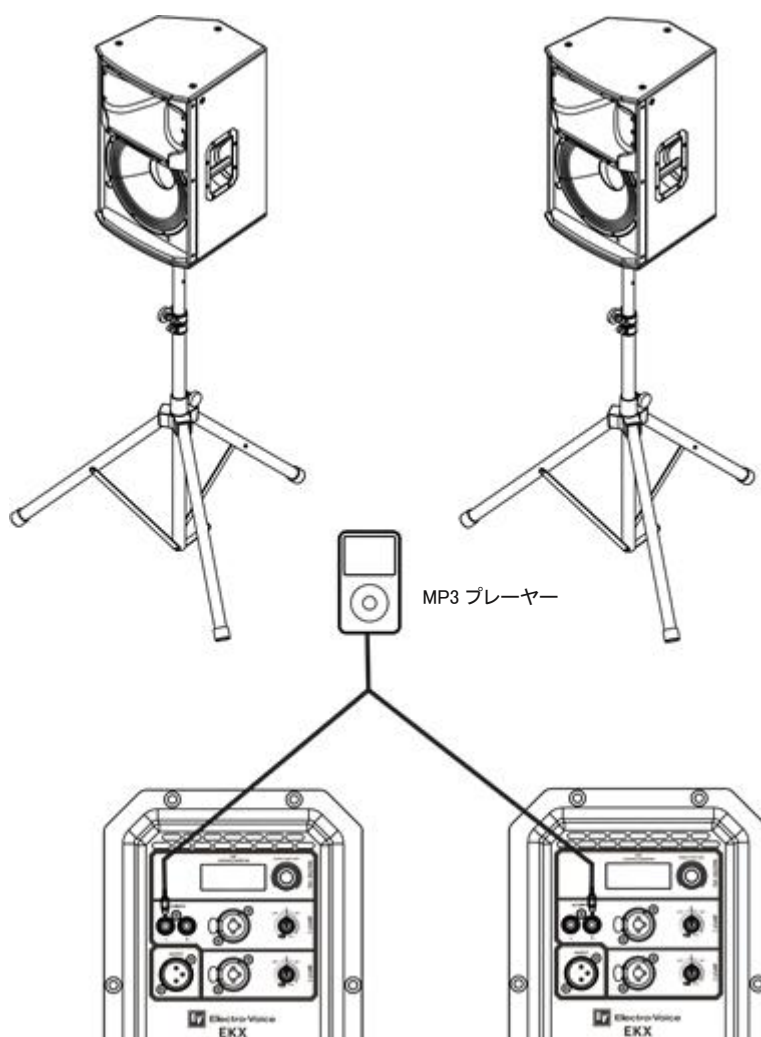
7.3 MP3 プレーヤの STEREO 構成

MODE:	MUSIC
LOCATION:	TRIPOD
SUB:	OFF

表 **7.3:** 三脚に取り付けられたスピーカーの **DSP** 設定

詳細については、フルレンジスピーカーの *DSP コントロールメニュー*、*20* ページを参照してください。

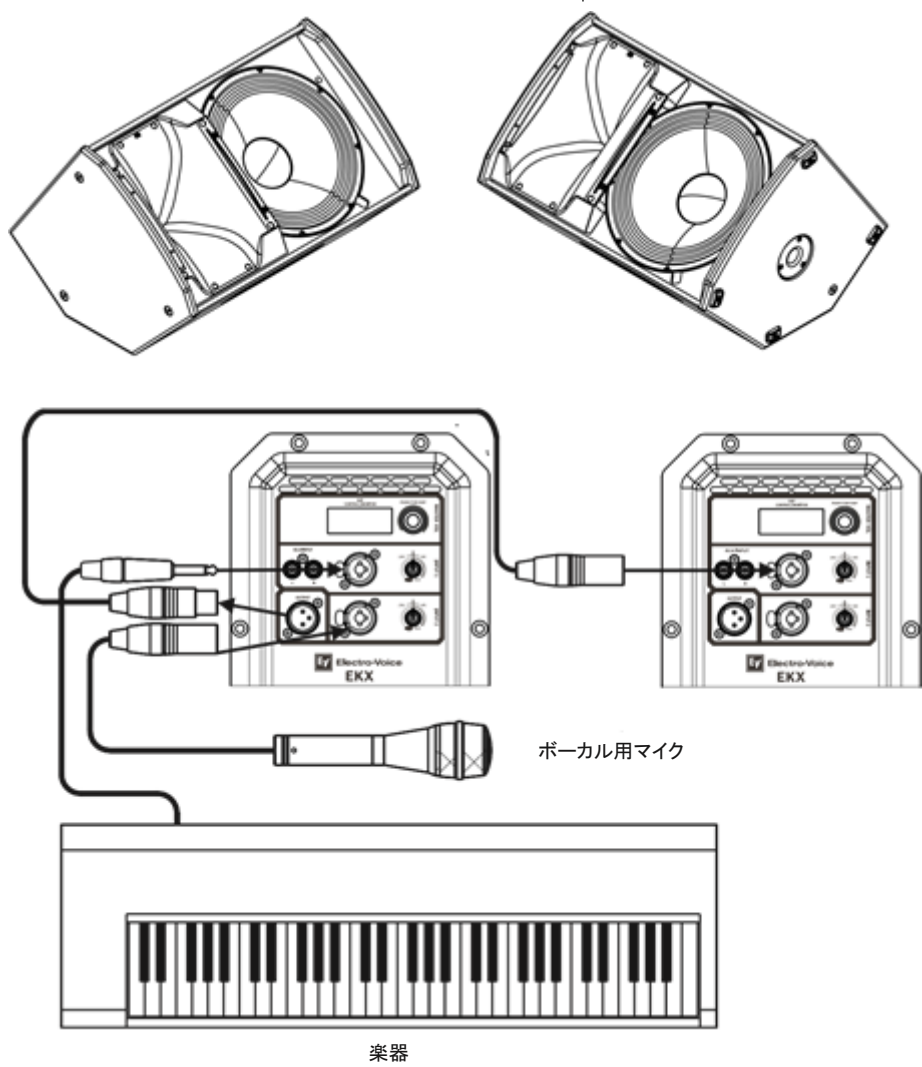
7.4 モニターとしてのフルレンジシステムの使用

MODE:	LIVE
LOCATION:	MONITOR
SUB:	OFF

表 7.4: 三脚に取り付けられたスピーカーの DSP 設定

詳細については、フルレンジスピーカーの *DSP コントロールメニュー*、*20 ページ*を参照してください。

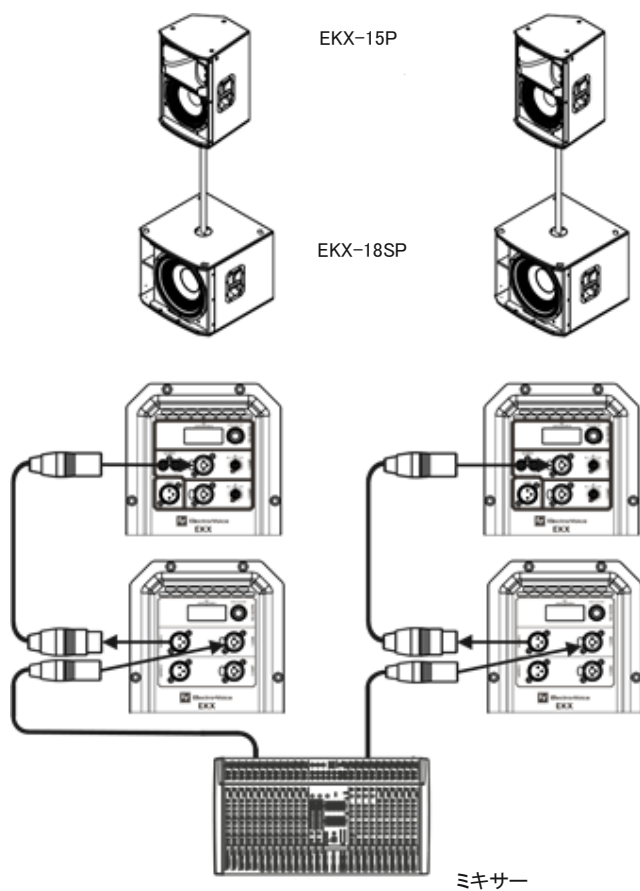
7.5 サブウーファーとのフルレンジシステムのスタック

EKX-15P	
MODE:	LIVE
LOCATION:	TRIPOD
SUB:	EKX-18SP
EKX-18SP	
MODE:	LIVE
LOCATION:	通常
LOW PASS:	EKX-15P

表 7.5: スタックされたスピーカーとサブウーファーの DSP 設定

詳細については、フルレンジスピーカーの *DSP コントロールメニュー*、*20* ページ および サブウーハー *DSP コントロールメニュー*, ページ *26* を参照してください。

7.6 カーディオイドコントロールテクノロジー

EKX-15SP および EKX-18SP サブウーファーは、元は エレクトロボイスのコンサートサブウーファーシステム用に開発されたカーディオイドアレイ処理を備えています。カーディオイドサブウーファーアレイは、希望しないエリアに響く余分な量の低音を制限するためにサブウーファーアレイの出力を方向付けするために使用できます。これらのアレイを使用すると、ステージに低音が響かないようにしたり、聴衆内でより安定した低音カバーエリアを実現したり、周囲のエリアで低音を減らしたりできます。

複数の EKX-15SP または EKX-18SP をアレイ配列すると、カーディオイド極性パターンを作成できます。「カーディオイドパターンの上面」を参照してください。DSP メニュー内のカーディオイド設定は、追加の設定をすることなく、最大 35 dB の背面リジェクションを生成するように 適化されています。小規模な室内環境では、大規模な室外環境よりも除去の量が小さくなる場合があります。最良の性能を実現するため、次のガイドラインに従ってください。

サブウーファーはすべて同じモデルである必要があります。たとえば、すべて EKX-15SP であるか、すべて EKX-18SP です。

- サブウーファーは図に示されているいずれかのオプションで物理的に配置する必要がある。「カーディオイドの物理的な配置」を参照してください。
- フロントファイアリング型サブウーファーでは LOCATION 設定に NORMAL を、リアファイアリング型サブウーファーでは CARDIOID を使用します。他のすべての設定は、フロントファイアリング型サブウーファーとリアファイアリング型サブウーファーで同じにする必要があります。詳細については、*サブウーファーDSP コントロールメニュー*、*26* ページを参照してください。

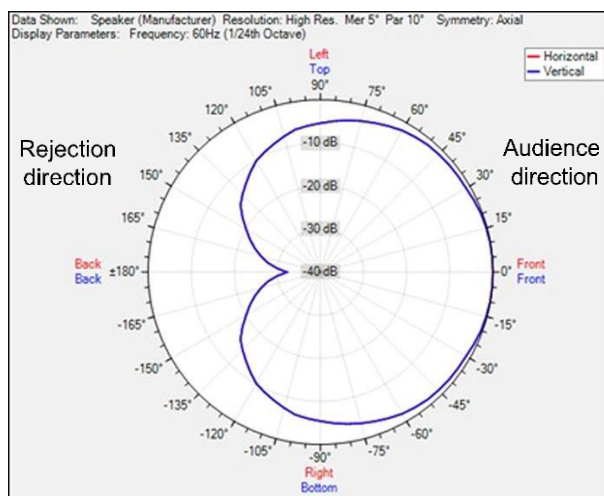



図 7.1: カーディオイドパターンの上面

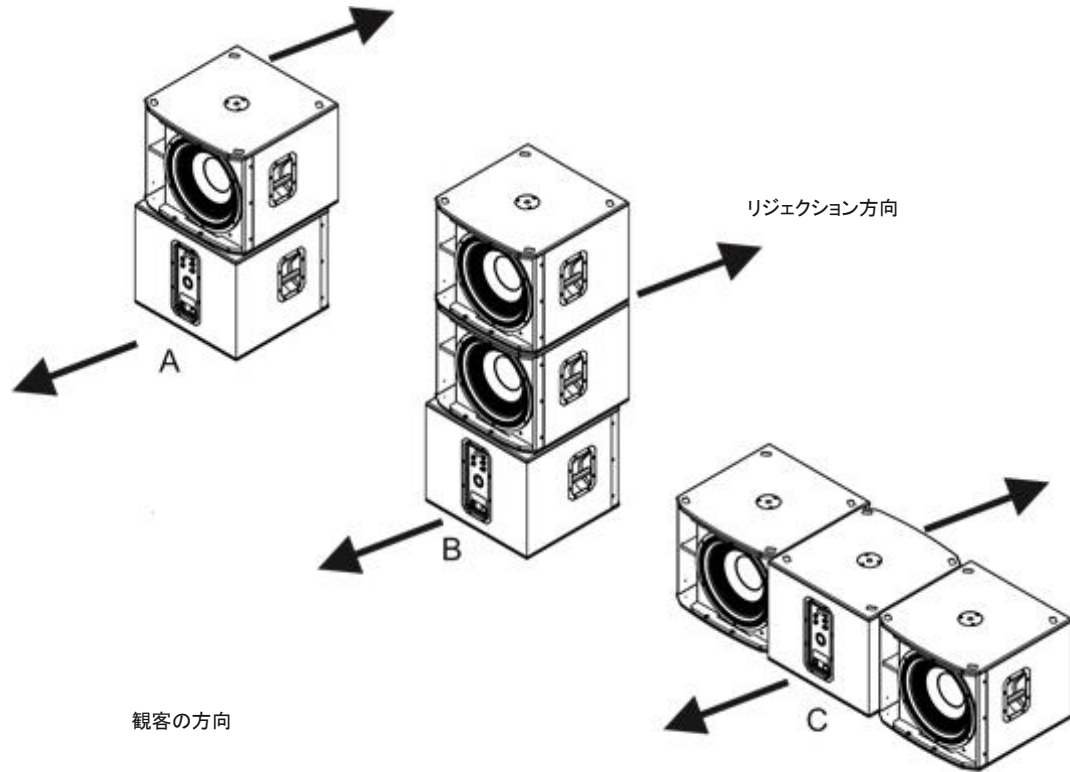



図 7.2: カーディオイドの物理的な配置

カーディオイドオプション **A**:
2 つの EKX-15SP または 2 つの EKX-18SP サブウーファーを垂直方向に並べます。上部のサブウーファーは聴衆の方向に向け、底部のサブウーファーは聴衆とは反対の方向(除去方向)に向けます。
カーディオイドオプション **B**:
2 つの EKX-15SP または 3 つの EKX-18SP サブウーファーを垂直方向に並べます。上部の 2 つのサブウーファーは聴衆の方向に向け、底部のサブウーファーは聴衆とは反対の方向(除去方向)に向けます。
カーディオイドオプション **C**:
3 つの EKX-15SP または 3 つの EKX-18SP サブウーファーを水平方向に並べます。左と右のサブウーファーは聴衆の方向に向け、中央のサブウーファーは聴衆とは反対の方向(除去方向)に向けます。

聴衆の方向を向いているサブウーハー	
LOCATION:	Normal
聴衆とは反対の方向(除去方向)を向いているサブウーファー	
LOCATION:	Cardioid

表 7.6: サブウーファーカーディオイド

詳細については、サブウーファー *DSP コントロールメニュー*、*26 ページ* を参照してください。
カーディオイドアレイの詳細については、www.electrovoice.com で EKX-15SP または EKX-18SP の製品ページを参照してください。

8 トラブルシューティング

問題	考えられる原因	対策
1. 音が出ない	アンプの問題	正しく鳴ることが分かっているテストスピーカーをアンプ出力に接続します。音が聞こえない場合は、電子機器がすべてオンになっていること、信号ルーティングが正しいこと、音源がアクティブであること、ボリュームを上げていることなどをチェックし、必要に応じて修正/修理/交換してください。音が出る場合は、配線に問題があります。
	配線の問題	正しいケーブルをアンプに接続したことを確認します。アンプを通して何か音楽を小さな音量で再生します。テスト用スピーカーを、故障しているラインと並列に接続します。サウンドレベルが消えている、または非常に弱い場合、ラインはショートしています（おそらくひどいこすれ、圧迫または問題が解決するまで、テスト用スピーカーを使用し、ラインを移動して各接続／接続部のテストをします。極性が正しいかも確認してください。
2. 低域特性が不十分	SUB メニューでクロスオーバー周波数がアクティブになっている。	システムとともにサブウーハーが使用されていない場合は、OFF 位置を選択します。詳細については、フルレンジスピーカーの *DSP コントロールメニュー、20 ページ*を参照してください。
3. 断続的なパチパチというノイズやひずみ雑音がある	接続不良	アンプとスピーカーのすべての接続をチェックし、ケーブルに汚れがなくしっかりと接続されていることを確認してください。問題が解決しない場合は、配線をチェックします。問題 1 を参照してください。
4. ブーッ、シューッ、ブーンといったノイズが絶えず鳴る	音源またはその他の電子機器の不具合	何も再生していないのにノイズが解決しない場合、必要に応じて各コンポーネントを調べ、問題を特定してください。おそらく電子機器の信号チェーンに原因があります。
	システムのグラウンドが不適切、またはグラウンドループが発生している	必要に応じてシステムグラウンドをチェックし、修正してください。
	入力ゲインノブが MIC 位置にない	入力ゲインノブレベルをゆっくり上げ、マイクプリアンプを有効にします。
5. INPUT 1 または INPUT 2 に接続されたマイクの音が出ない	マイクにファンタム電源が必要です。	ファンタム電源を必要としないダイナミックマイクを使用してください。ファンタム電源が必要なマイクを使用する場合は、外部ファンタム電源が必要です。

	入力ゲインノブが MIC 位置にない	入力ゲインノブレベルをゆっくり上げ、マイクプリアンプを有効にします。
6. 音に歪みがある、フロント LED が OFF である、LCD 画面で LIMIT が ON である	入力レベルが高すぎる	限界を避けるために入力レベルまたはラウドスピーカーレベルノブを下げます。
	ゲイン構造が正しくない、またはソース入力（ミキシングコンソール/プリア	LCD 画面上の VU メーターインジケータを使用して、ソースのレベルコントロールが正しい構造になっていることを確認します。VU メーターバーが動かなくなっている、またはシステムが LIMIT を示している場合、入力またはソースレベルが高すぎます。詳細については、*システムの状態*、*18 ページ* を参照してください。
7. 入力レベルが増幅されたとき、ハウリングがおこる	ゲイン構造が正しくない	ミキシングコンソールまたは入力ソースのマイクレベルを下げます。マイクがスピーカーに直接接続されている場合は、スピーカーの入力レベルを下げます。マイクを音源の近くに置くと、フィードバック前のゲインが増加します。問題 6 を参照してください。
	MODE が MUSIC に設定されている	MODE を LIVE または SPEECH に変更します。詳細については、フルレンジスピーカーの *DSP コントロールメニュー*、 *20 ページ*を参照してください。
	マイクの位置がスピーカー前面に近すぎる	可能な限り、スピーカーがマイクより前にくるようにセットアップしてください。 スピーカーをモニター位置で使う場合は、スピーカーをマイク背面に向けて下さい。
8. DSP メニューがロックされている	メニューロック機能がオンになっています。ロック記号が LCD 画面に表示されています。	MASTER VOL つまみを 5 秒間押し続けます。 詳細については、*DSP コントロール*、*20 ページ*を参照してください。
上記の対策を講じても問題を解決できない場合は、お近くのエレクトロボイス販売代理店にお問い合わせください。		

9 技術仕様

EKX-12P および EKX-15P

	EKX-12P	EKX-15P
周波数特性（-3dB）	60 Hz – 18 kHz[1]	55 Hz – 18 kHz[1]
周波数レンジ（-10dB）	50 Hz – 20 kHz[1]	48 Hz – 20 kHz[1]
最大 SPL	132 dB[2]	134 dB[2]
指向性（水平 x 垂直）	90° x 60°	
アンプ出力	1500 W	
LF トランスデューサー	EVS-12M 300 mm (12 インチ)	EVS-15M 381 mm (15 インチ)
HF トランスデューサー	DH-1M 1 インチ チタン製ダイヤフラムコンプレッションドライバー	
クロスオーバー周波数	1.7 kHz	1.7 kHz
コネクタ	ステレオ RCA x 1、XLR/TRS コンボジャック x 2 XLR リンク出力 x 1	
筐体	15 mm 樺合板、EV コート	
グリル	18 AWG スチール、パウダーコート塗装	
吊下げ	8 箇所 M10 ナット埋め込み	
寸法（高 x 幅 x 奥）	607 mm x 375 mm x 356 mm (24 インチ x 15 インチ x 14 インチ)	685 mm x 432 mm x 429 mm (27 インチ x 17 インチ x 17 インチ)
本体重量	18.8 kg (41.4 lb)	24.4 kg (53.9 lb)
輸送重量	22.9 kg (50.4 lb)	29.5 kg (65.0 lb)
消費電力	1.8 A[3]	

1. DSP プリセット MUSIC を使用したフルスペース測定。
2. 最大 SPL は最大出力時、ピンクノイズを発生させて 1 メートル離れたところで測定。
3. 定格電流は 1/8 出力時。

EKX-15SP および EKX-18SP

	EKX-15SP	EKX-18SP
周波数特性（-3dB）	45 Hz - 150 Hz[1]	40 Hz - 150 Hz[1]
周波数レンジ（-10dB）	40 Hz - 180 Hz[1]	35 Hz - 180 Hz[1]
最大 SPL	133 dB[2]	134 dB[2]
アンプ出力	1300 W	
LF トランスデューサー	EVS-15C 381 mm（15 インチ）	EVS-18C 457 mm（18 インチ）
ローパス周波数	調整可能： 80 Hz, 100 Hz, 120 Hz, 150 Hz	
コネクタ	XLR/TRS コンボジャック x 2、XLR リンク出力 x 2	
筐体	15 mm 樺合板、EV コート	
グリル	18 AWG スチール、パウダーコート塗装	
寸法（高 x 幅 x 奥）	455 mmx 530 mm x 551 mm （18 インチ x 21 インチ x 22 インチ）	520 mm x 606 mm x 612 mm （20 インチ x 24 インチ x 24 インチ）
本体重量	26.2 kg（57.7 lb）	32.8 kg（72.4 lb）
輸送重量	32.6 kg（71.8 lb）	41.2 kg（90.9 lb）
消費電力	1.8 A[3]	

1. ハーフスペース測定。
2. 最大 SPL は最大出力時、ピンクノイズを発生させて 1 メートル離れたところで測定。
3. 定格電流は 1/8 出力時。

9.1 周波数特性

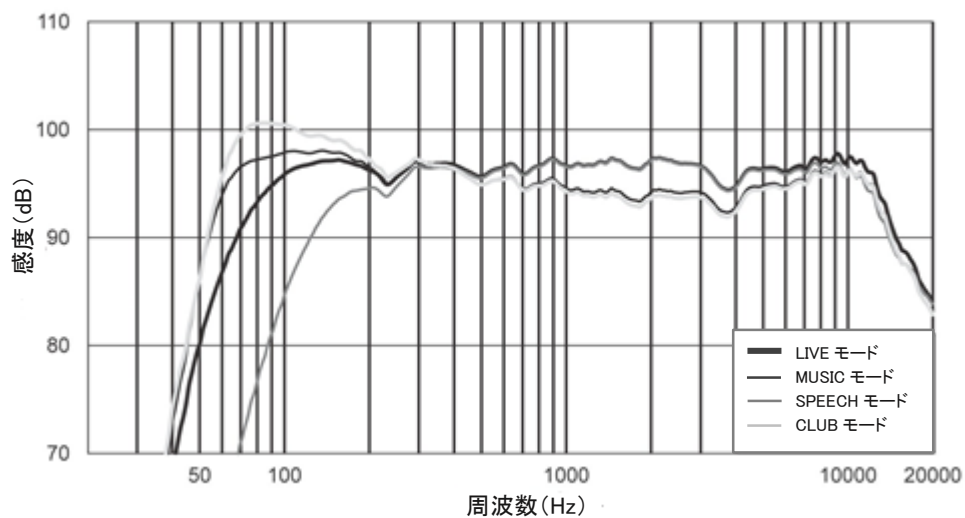



図 9.1: EKX-12P 周波数特性グラフ：LIVE、MUSIC、SPEECH、および CLUB モード

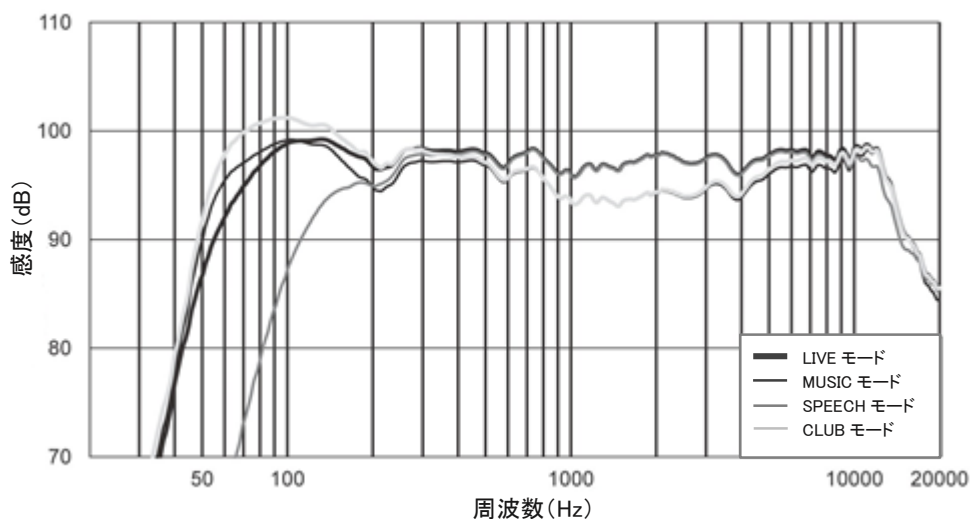



図 9.2: EKX-15P 周波数特性グラフ：LIVE、MUSIC、SPEECH、および CLUB モード

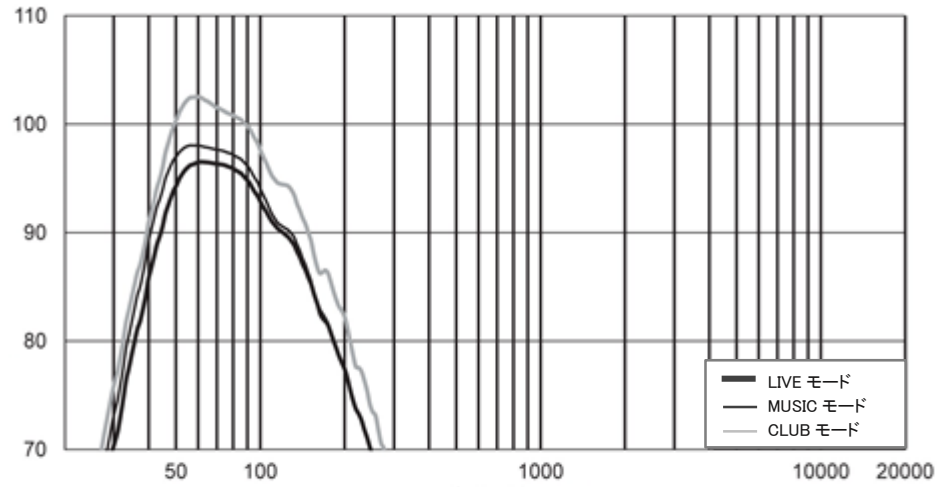



図 9.3: EKX-15SP 周波数特性グラフ:LIVE、MUSIC、および CLUB モード

図 9.4: EKX-18SP 周波数特性グラフ:LIVE、MUSIC、および CLUB モード